

第32回 神無一族の氾濫

担当 神無七郎

☆「駒が自分の利きがない場所  
所に動くことがある作品」

を特集した今回の氾濫。お  
かげさまで解答総数20通と、  
前回より若干増加しました。

①ばか詰 89手「走馬燈」  
神無三郎

9	8	7	6	5	4	3	2	1	一
									二
									三
									四
				飛	飛	銀	銀	銀	五
			留	金	金	香	歩	香	六
				銀	歩		曇	王	七
				歩	手	香		手	八
									九
	金	桂	手	手					

持駒 角歩

28歩、同玉、19角、39玉、

- 28角、48玉、37角、39玉、
- 48角、28玉、39角、27玉、
- 29香、37玉、28角、27玉、
- 19角、28と、同香、37玉、
- 27香、同玉、28歩、37玉、
- 27歩、28香、同角、48玉、
- 39角、37玉、48角、同圭、
- 39香、38角、同香、同圭、
- 19角、28香、同角、48玉、
- 39角、47玉、49香、37玉、
- 48角、47玉、59角、48圭、
- 39桂、37玉、48角、28玉、
- 37角、39玉、48角、28玉、
- 39角、37玉、48角、47玉、
- 59桂、同圭、同角、48歩、
- 同香、37玉、47香、同玉、
- 48歩、37玉、47歩、48香、
- 同角、28玉、39角、37玉、
- 28角、47玉、59桂、同馬、
- 49香、48馬、同香、同玉、
- 39角、59玉、48角、68玉、
- 77角迄89手。

流し繰り返し趣向かと思いき

や少しずつ違う形で成桂を  
ハガしての打開。これだけ  
の舞台で完全に手順が限定  
するのはさすが。

☆規則性と不規則性が混在す  
る密室パズル。中心機構は  
持駒変換×桂はがしです。

志賀友哉―後半も歩から香へ  
変換しながらはがしたせい  
で大幅超過して焦った。

☆手順の流れに乗って48手目  
48歩合とすると8手余分に  
掛かります。逆に3枚目の  
成桂をはがした時には歩か  
ら香への変換が必要。丁寧  
な読みが要求されます。

☆三郎氏は作品に句を付ける  
のが恒例ですが、今回は句  
の予想(?)をした方もい  
らっしゃいました。

小倉杏―生涯にまはり燈籠の

句一つ(素十)

☆では実際の句と作者の言葉  
をどうぞ。

作者―もう一枚成桂がはがせ  
るとよかったです。な  
かなか限定が難しく、最期  
は馬をはがしての収束にな  
りました。左右での趣向で  
なんとかまとまりました。

走馬燈何かも風の  
やうに過ぐ (小林看空)

②キルケばか自殺詰8手  
増田智彬

9	8	7	6	5	4	3	2	1	一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角香



だけにその筋にとつぷり嵌ってしまいました。79金の存在が実に巧み。

☆本作の正解者はわずか3名。つまりこれが解けた方が全題正解者です。しかし作者は当初こう仰っていました。

作者―(略) 紛れが少なく、詰め上がりも予想しやすいですが、どうかよろしくおねがいします。

☆実は原図には受方65金の代わりに攻方94桂があり、63歩は受方という配置でした。

82龍の紛れが残るよう作者が推敲を続けた結果が今回の出題図で、作者の努力は見事実を結んだと言えます。

小倉杏―収束は、同飛成／82

竜まで、飛車が盤上を飛び回る作…と見せかけて(笑)、

この渋い手順。見事にひっ

かかりました。

☆詰上りが見えにくい原因は手順の「渋さ」だけではありません。詰上りを構成する駒2枚が復活によって生じたものである点と、それが収束間際まで現れず最後の連続復活で出現する点にもあると思います。この作品からは、作意だけでなく紛れを含めた手順全体が詰将棋の表現手段であることを再認識させられます。

⑤Messigny ばか詰 23手

神無太郎

			王					

持駒 桂

27 桂、23 玉／15 玉、35 桂、

33 玉、23 桂成、34 玉、24 圭、

35 玉、25 圭、36 玉、同王／

15 玉、16 玉、26 圭、17 玉、

同王／36 玉、37 玉、27 圭、

38 玉、同王／17 玉、18 玉、

28 圭、19 玉、29 圭迄23手。

(交換する手を／で表す)

【Messigny (メッシニ)】双方

の同種の駒は一手でその位置を交換することができる。

増田智彬―玉と王のダンスを

彷彿とさせる軽やかな趣向。

うん、楽しい!

志賀友哉―上に追うか下に追

うかで散々悩んだ。趣向順

が現れるとは…

小倉杏―ルールの特性が明確

にあらわれる楽しい手順を

シンプルな形で表現するセ

ンスはさすがです。

☆一見玉を下段に落とすのが

自然に見えますが、それは

25手掛かります。思い切っ

た発想の転換で入玉形を目

指すと、玉が互いにクルク

ルと入替わる趣向手順が出

現! 超簡素形で Messigny

の魅力を伝える完成品です。

⑥Messigny ばか詰 155手

洞江元太


持駒 なし

16 王／14 玉、24 玉、

25 歩／27 歩、16 玉／24 玉、

17 歩／15 歩、26 玉、

同王／24 玉、14 玉、

15 歩／17 歩、26 玉／14 玉、

27 歩／25 歩、36 玉、

同王／14 玉、24 玉、

「25歩／27歩、36玉／24王、

37歩／35歩、26玉、

同王／24玉、34玉、

35歩／37歩、44玉、

45歩／47歩、26玉／44王、

27歩／25歩、36玉、

37歩／35歩、46玉、

同王／44玉、34玉、

35歩／37歩、46玉／34王、

47歩／45歩、56玉、

同王／34玉、44玉、」

(以下「内と同様に2筋

ずつ左辺に移動する。80手

目96王・84玉の形から)

85歩／87歩、96玉／84王、

97歩／94歩、86玉、同王

／84玉、93玉、92銀成、

86玉／93王、87歩／85歩、

76玉、同王／93玉、84玉、

(以下「内の手順を左右

反転させた手順で右辺に移

動する。136手目36王・44玉

の形から) 45歩／47歩、

36玉／44王、37歩／35歩、

46玉、同王／44玉、34玉、

35歩／37歩、24玉、

25歩／27歩、13玉、

12全／92全、同金、14歩、

22玉、13歩成、同玉、31馬、

22銀、16飛迄155手。

☆ここに不思議な詰将棋があ

ります。左に行くには少し

右に行き、右に行くには少

し左に行かねばなりません。

正解者も首を傾げています。

須川卓二とにかくややこし

い。歩の交換と玉の交換を

使い一往復するのだが、前

に進んでいるのかどうか

分かりにくかった。155手に

するのが一苦勞でした。

☆この困惑の原因は異質の趣

向の組合せ。玉は「物」が

移動する《粒子》ですが、

歩は「状態」が移動する《波》

です。そのため、両者が複

合された趣向の構造を把握

するのが難しいのです。

増田智彬―22手サイクルの趣

向作ですが、とても複雑で

頭がこんがらがりました。

1サイクル毎に2筋ずれて

いくのが新鮮。収束も難し

くて解き応えがありました。

詰上がりも面白いですね。

☆交換を避けるため自玉に紐

を付ける詰上りは、慣れな

いと難しいかもしれません。

全体の構成は左辺で成銀を

作って戻る明快な一往復で

すが、送り機構は普通詰将

棋を始め他のルールでも類

例を探するのが困難。極めて

独創的で斬新な趣向作です。

【総評等】

神谷薫―Messiaryは「詰バラ

では初めてのルール」との

ことですが、詰バラ以外で

フェアリーの発表の場所が

他にあるということではし

うか。

☆Web Fairy Paradise という

フェアリー専門誌がネット

上で刊行されています。ぜ

ひび―読ください。(http:/

/www.dokidoki.ne.jp/home

2/takaji/wfp.html)

【解答成績】(太字5名当選)

【全題】須川卓二、小倉杏、

駒井信久【5題】今川健一、

増田智彬【4題】市村道生、

神谷薫、花井秀隆

【3題】志賀友哉、流

【2題】原雅彦、和田裕之

【1題】天津包子、栗保友

【0題・コメントのみ】

武田静山、市原誠、岡本研、

佐藤司、塚崎彰仁、Sub